

古代体験 マニュアル

埋文センターは古代体験を支援します

●バックナンバーの紹介

島根県埋蔵文化財調査センターでは、これまでに6冊の古代体験マニュアルを発行してきました。各学校や教育委員会、図書館などに配布していますので、体験活動の参考にご活用ください。バックナンバーの希望や用具の貸し出し、体験内容に関する質問などは下欄の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。



Vol.1 野焼きで作る縄文土器

1999年12月発行

材料となる土づくりから成形、模様付け、焼き上げまでを解説します。野焼きは場所、材料などの確保が大がかりになりますが、完成したときの達成感は一とおです。また、完成した土器で塩づくりや調理を体験することもできます。



Vol.2 縄文風ドングリ料理をつくろう

2001年3月発行

木の実を使った縄文食を中心に紹介しています。ドングリの採集から調理・実食まで、楽しんで体験することができます。自然観察活動とあわせて、古代人の視点から環境を見直す良いきっかけとなるでしょう。



Vol.3 火おこしに挑戦!!

2002年3月発行

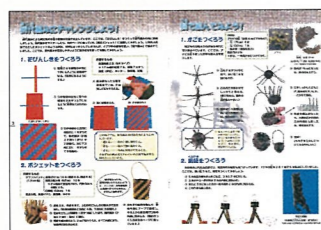
炎は古代人にとっても調理・照明・暖房など様々な場面で生活に欠かせないものでした。この冊子では火起こし方法の解説や、昔の灯火具を紹介しています。自分で起こした火を使って、土器の野焼きや古代食調理を体験するのもおすすめです。



Vol.4 勾玉づくりに挑戦!!

2003年3月発行

古代のアクセサリーのひとつであるガラス勾玉の作り方を紹介しています。ガラスを溶かし、鑄型に流し込んでオリジナルのガラス玉を作る方法を、体験活動で取りあげやすい方法で解説しています。



Vol.5 古代の技「編む」に挑戦!!

2004年3月発行

古代の網代編み・アケビのつるを使ったカゴづくり・編布づくり・糸紡ぎの方法を紹介し、花瓶敷きやポシェットの作り方を解説します。遺跡からの意外な出土品も写真付きで詳しく解説していますのでご参考に。



Vol.6 古代の塩「藻塩」づくりに挑戦!!

2005年3月発行

生活に欠かせない塩。この冊子では土器と海水を使用した古代の藻塩づくりの方法を紹介しています。海浜地域の皆さんには特におすすめ。体験を通して、身近な海と人々のかかわりを考えてみましょう。

古代体験マニュアル Vol.7 ろう鏡・勾玉・土笛を作ろう!

2006年3月

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 発行 (問い合わせ先: 子ども塾担当)
〒690-0131 松江市打出町33 TEL0852-36-8608 FAX0852-36-8025
[ホームページ] <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/> [Eメール] maibun@pref.shimane.lg.jp

古代体験

マニュアル

Vol.7

ろう鏡・勾玉・土笛を作ろう!



島根県教育庁
埋蔵文化財調査センター